

漫画を活用した地域活性化事業 (岡山県 和気町)

取組概要

(作品愛 + 地元愛) × 情熱 = 奇跡のコラボが実現!

～若手職員のアイデアを地域おこし協力隊がサポート～

漫画『推しが武道館いってくれたら死ぬ』を活用したシティプロモーション
地域ファンクラブ『和気町ファンクラブ』の設立による関係人口の創出

Step1

興味を持つ!

Step2

行ってみる!

Step3

好きになる!

Step4

伝えたいくなる!

Goal

関係人口増加

取組の効果

プロモーションとしての効果

メディア掲載件数 48回(TV・ラジオ・新聞・web系メディア)

SNSのフォロワー数 3,199 アカウト SNS表示回数 約275万回

関係人口の創出としての効果

和気町ファンクラブ 会員 1,498人 和気町への来訪者数 約5,000人

創意・工夫した点

広告代理店出身の地域おこし協力隊が持つ民間のノウハウを活用し、低コストでの事業運営を行った。

地元出身の職員を中心に地域と綿密に連携をとりながら「産学官+地域」との協働を行うことができた。

小さい自治体ならではの、弾力的かつスピーディーな意思決定が行えるよう少数精鋭による企画運営を行った。

打ち上げ花火的な取り組みにならないよう、定期的に和気町に来訪する動機作りを行った。

他団体へのアドバイス

職員と地域おこし協力隊が綿密な連携を行うことにより、公益性を損なわず、民間のノウハウを活用をできる。

漫画などの作品に登場しない場所でも、アイデア次第で実質的な『聖地』になることができる。

担当者の顔が見える企画にすることで、地域やファンクラブ会員に親近感を持ってもらえる。

漫画などのコンテンツはキッカケに過ぎず、ファンの気持ちに寄り添うことで、運営母体をコンテンツ化できる。

人口13,151人(R6.1.1現在)

担当課 まち経営課

